【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年10月22日(2024.10.22)

【国際公開番号】WO2023/157771
【出願番号】特願2024-501347(P2024-501347)
【国際特許分類】
C08G 63/66(2006.01)
C09D167/02(2006.01)
B32B 15/09(2006.01)
【FI】
C08G 63/66
C09D167/02
B32B 15/09 A

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月8日(2023.11.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
多価カルボン酸成分と多価アルコール成分を共重合成分とし、次の（ｉ）～（ｉｉｉ）の条件を満たすポリエステル樹脂。
（ｉ）ポリエステル樹脂を構成する多価カルボン酸成分のうち、フラン骨格を有する多価カルボン酸成分を１０モル％以上有する。
（ｉｉ）ポリエステル樹脂を構成する多価アルコール成分のうち、炭素数６以上の脂環族ジオールを１０～５０モル％含有する。
（ｉｉｉ）ガラス転移温度が７０℃未満である。
【請求項２】
還元粘度が０．２～０．８ｄｌ／ｇ、酸価が４０ｅｑ／ｔ未満であり、融点を有さないことを特徴とする請求項１に記載のポリエステル樹脂。
【請求項３】
ポリエステル樹脂を構成する多価カルボン酸成分のうち、フラン骨格を有する多価カルボン酸成分以外に、芳香族多価カルボン酸、脂肪族多価カルボン酸、脂環族多価カルボン酸から選ばれる少なくとも１種以上の多価カルボン酸成分を５モル％以上有する請求項１に記載のポリエステル樹脂。
【請求項４】
ポリエステル樹脂を構成する多価アルコール成分のうち、炭素数４以下の直鎖の脂肪族グリコール成分と側鎖を有する炭素数５以下の脂肪族グリコ―ル成分の合計が５０～９０モル％であり、かつ炭素数が６以上の脂環族ジオールを１０～５０モル％含有する請求項１に記載のポリエステル樹脂。
【請求項５】
金属板コーティング用である請求項１に記載のポリエステル樹脂。
【請求項６】
請求項１～５のいずれかに記載のポリエステル樹脂と硬化剤とを含み、ポリエステル樹脂／硬化剤＝９８／２～５０／５０（質量部）の割合で含有する金属板コーティング組成物。

【請求項７】
前記硬化剤がアミノ樹脂、フェノール樹脂およびイソシアネート化合物から選ばれる少なくとも一種の硬化剤である、請求項６に記載の金属板コーティング組成物。
【請求項８】
請求項１～５のいずれかに記載のポリエステル樹脂と硬化剤との反応物を含む層を有する積層体。
【請求項９】
請求項６に記載の金属板コーティング組成物が金属板表面に積層された塗装金属板。
【請求項１０】
請求項９に記載の塗装金属板を構成材料として含む缶。